

禅昌寺

平安時代（794 年-1185 年）に建てられたとされる仏教寺院、禅昌寺の堂宇は松と杉の木々に囲まれています。この寺院には、仏像や書など、貴重な作品のコレクションを所蔵しています。大書院には、禅僧で画家の雪舟（1420 年-1506 年）の有名な水墨画「八方にらみの達磨」が収蔵されています。厳かな表情の伝説の僧菩提達磨（達磨）を大胆な筆致で描いた傑作です。

本堂の裏手には、茶人・金森宗和（1584 年-1656 年）が設計した丘陵庭園があります。宗和は飛騨地方の豪族の出身で、貴族の間で流行した茶道宗和流を創始しました。庭園はツツジやカエデなどで埋め尽くされ漢字の「心」の形をした小さな池があります。本堂の裏側に張り巡らされた縁側は庭園を眺める絶好の場所です。秋には火のように赤い紅葉の名所として人気のお寺です。